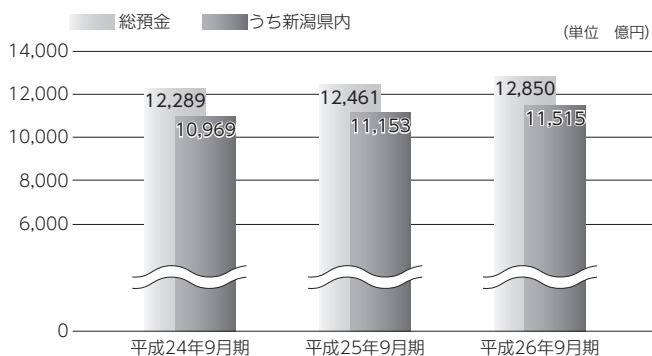


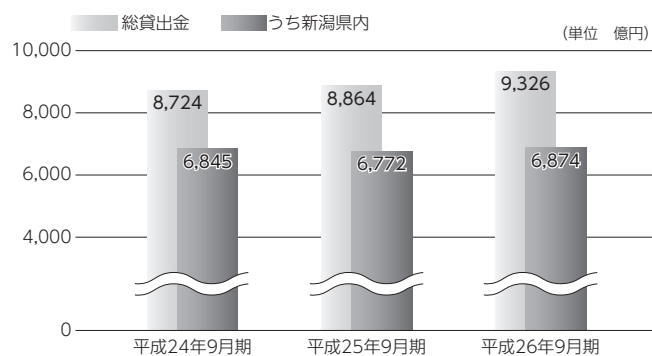
# 平成26年度中間決算ダイジェスト (単体)

## ■ 預金残高



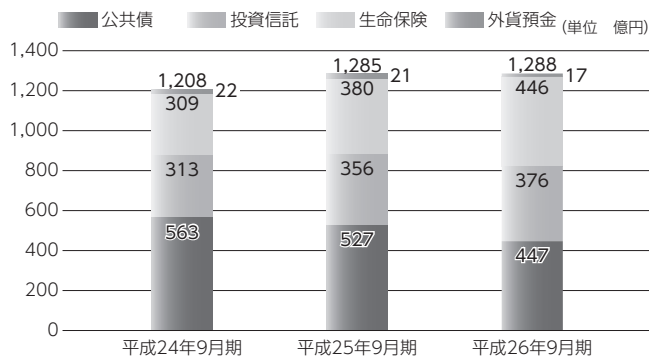
預金残高は、個人・公金預金が増加し、前年同期比389億円増加の1兆2,850億円となりました。  
新潟県内預金残高は1兆1,515億円、県内預金比率は89%です。

## ■ 貸出金残高



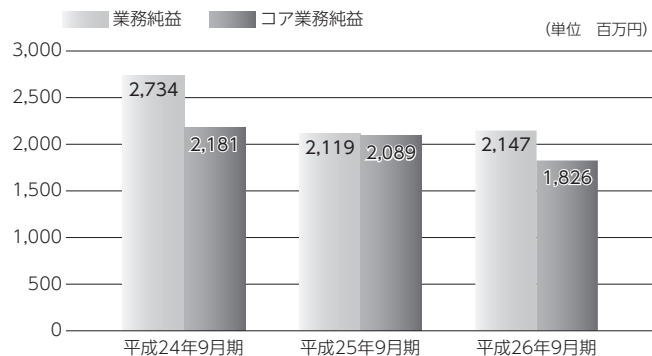
貸出金残高は、事業者向け貸出を中心に個人向け貸出、地公体向け貸出のいずれも増加し、前年同期比462億円増加の9,326億円となりました。  
新潟県内貸出金残高は6,874億円、県内貸出金比率は73%です。

## ■ 預り資産残高



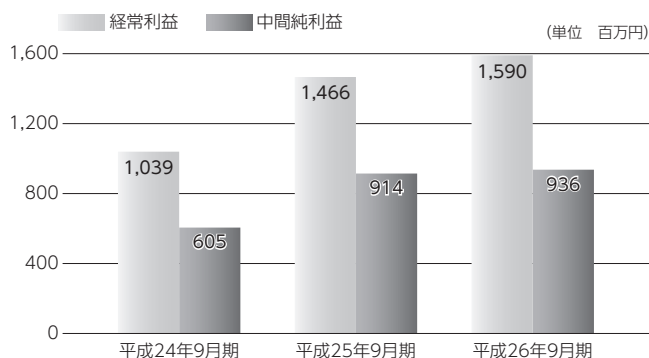
預り資産残高は、投資信託および生命保険が増加したことから前年同期比3億円増加し、1,288億円となりました。

## ■ 業務純益・コア業務純益



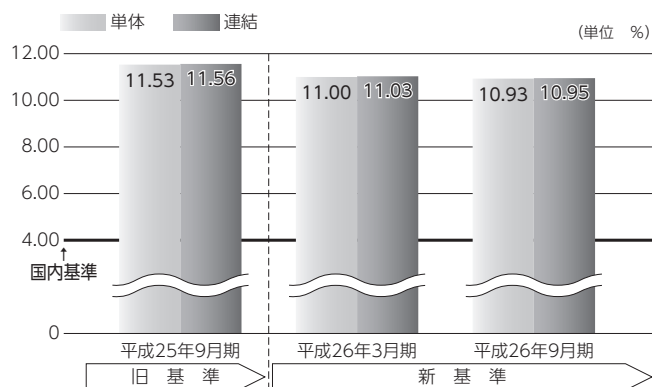
業務純益は、資金利益は減少しましたが、経費の減少や国債等債券関係損益の改善などにより前年同期比28百万円の増益となりました。  
コア業務純益は、前年同期比2億63百万円減少し、18億26百万円となりました。

## ■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、国債等債券関係損益の改善や、実質与信関係費用の減少などにより、前年同期比1億24百万円の増益となりました。  
中間純利益は、法人税等調整額を含めた税金費用が増加しましたが、経常利益の増加を受け、前年同期比22百万円の増益となりました。

## ■ 自己資本比率



自己資本比率規制に関する告示が改正され、平成26年3月末より新基準にて算出しております。  
自己資本比率は、単体が10.93%、連結が10.95%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。